

## 「我が国の学術研究の動向調査」（平成 8 年度～ 9 年度）について

### 1. 調査概要

本調査研究は、近年の我が国の学術研究活動について調査分析を行い、現時点における我が国の学術研究の動向を把握し、今後の学術研究について展望するための基礎資料を作成することを目的に実施した。

我が国の学術研究活動の動向の把握については、平成 2 年度に「我が国の学術研究動向」と題する調査・研究が行われていることから、これを踏まえ、平成 2 年度以降の我が国の学術研究の動向についてアンケート調査等により調査・研究を行う。

アンケート調査以外にも、国内における各種審議会等（学術審議会、測地学審議会、科学技術会議等）の答申、報告書を収集し、これらに記述された研究動向等に関する分析を行い、その他、研究代表者、研究分担者が所属する学会等において、現在最も関心が持たれている研究課題や研究論文のテーマについても留意した。

それにより、①各研究分野における平成 2 年度以降の新たな研究の展開の状況、前回の調査時点での展望と現在の調査時点での差異、②現在、研究者の関心が集中しているテーマ、今後展開が予想される方向、③国際的な要請に応える観点から、必要とされている研究分野と我が国の研究状況、④今後我が国において特に進展が期待される研究分野等について掌握した。

### 2. 研究体制

（1）人文・社会科学、（2）数物科学、（3）情報科学、（4）地球・宇宙科学、（5）物質・材料科学、（6）電気工学、（7）構造・機能工学、（8）生命科学の 8 分野の研究グループを組織。

※P3～5、研究組織一覧参照

### 3. 「学術研究動向に関するアンケート調査」概要

(期間) 平成8年12月～平成9年1月

(調査対象者) 科学研究費補助金の一般研究等第1段審査員  
科学研究費補助金の一般研究等第2段審査員  
科学研究費補助金の特別推進研究の研究代表者  
科学研究費補助金の重点領域研究の領域代表者  
中核的研究拠点形成プログラムの研究リーダー  
合計：1235名

(回収結果) 郵送調査票数 1235  
回収調査票数 493  
回収率 39.9%

(回答者の研究分野)

アンケート調査において、調査対象者の研究分野が科学研究費補助金の系・部・分科・細目表の分類においてどの細目に該当するか記述してもらい、それを元に部レベルで回答を集計。その結果、医学分野の研究者が最も多く、148人(30%)となった。次点は、工学分野の研究者であり、88人(18%)であった。

	文学	法学	経済学	理学	工学	農学	医学	複合領域	広領域	無回答	総計
人数	46	12	13	76	88	43	148	64	1	2	493
%	9.3	2.4	2.6	15.4	17.8	8.7	30.0	13.0	0.2	0.4	100

(回答者の年齢構成)

調査対象者は、学術の第一線で活躍中の各分野の代表的な研究者であるため、50歳代及び60歳代の研究者で調査回答者の90%を占める結果となった。

	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	無回答	総計
人数	1	44	292	148	8	493
%	0.2	8.9	59.2	30.0	1.6	100